事例

体験活動や郷土料理作りを通じて、子供たちに先人たちの知恵と技をつなぐ（第６回食育活動表彰　消費・安全局長賞受賞）

愛媛県農山漁村生活研究協議会（愛媛県）

愛媛県農山漁村生活研究協議会（以下「協議会」という。）は、郷土料理の伝承活動を中心とした食育活動を展開しています。平成12（2000）年度から活動を開始し、食文化普及講座や保存伝承の活動等を実施してきました。会員は1,000人を超え、その多くは農林水産業に従事しており、食材の利活用・調理の方法や手順だけでなく、地域の豊かな自然や農林水産業が果たす役割を伝承しています。これまでに県下13地区の拠点で、延べ３万人以上の児童や消費者に対して、郷土料理に込められた先人の知恵と技をつないできました。

児童に郷土料理を説明する協議会員

地域の小学校等で開催する「えひめ食文化普及講座」では、ふるさとの味教室、農作物の栽培や収穫体験、魚のさばき方体験、はだか麦の味噌やジャム作り体験等、その地域の特色を生かした講座を開催しています。児童たちは祖父母世代の会員と一緒に郷土料理を作ることにより郷土への愛着を感じるようになりました。また、児童が食文化普及講座で学んだことを保護者に伝えることで、親世代の受講や地域の伝統行事への親子での参加等にもつながっています。

さらに、協議会が出版したレシピ集「愛媛のふるさとごはん」は多くの家庭で活用されており、令和２（2020）年度からは新たにインターネットで郷土料理作りの動画を配信することで、愛媛の食材と食文化の魅力を世界に向けて発信できるようにしました。

引き続き、地域に根ざした食文化の伝承を行うとともに、生涯にわたって健全な食生活が実践できる食育の推進に取り組んでいきます。

こんにゃく栽培体験の様子

協議会出版の「レシピ集」